

平成28年8月2日

## 研修報告書

松戸市議会議員  
大塚 健児

研修:地方創生とコンテンツ産業振興について

講師:松戸市まつど創生課職員

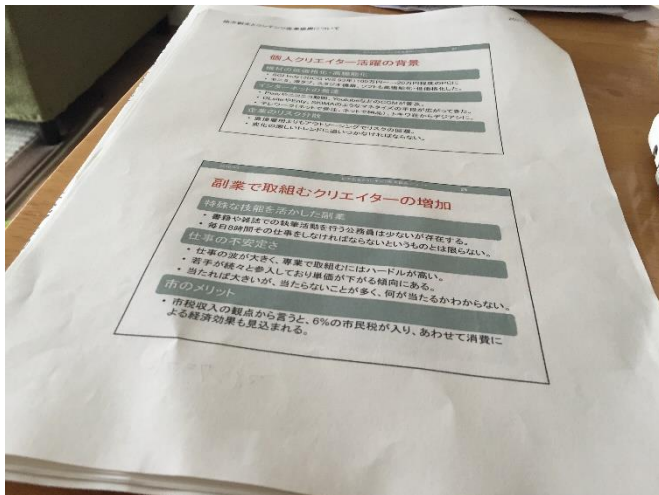
日時:平成28年8月4日(木) 10時~11時半

場所:松戸市議会党第二応接室

### 【研修報告】

コンテンツ産業の国内市場はもはや12兆円を超えるものとなりました。

特に目立つのが『ゲーム』分野です。



この『ゲーム』は海外市場でも根強い人気で、このコンテンツ産業を利用しない手はないというのが時代の流れです。

『ゲーム』産業も、『建設』産業と同じように職員の多重下請けという構造になっています。

そのため、携わっている労働者全体に賃金も流れる仕組みとなっています。

### ●松戸市

(産業状況)

- ・市街化率72.5%に達し、現在工業団地に空きがない
- ・特化係数で特に目立った産業が見られない
- ・過去コンテンツ事業者が創業・立地してきた

(行政の状況)

- 国の第四次文化芸術基本方針「文化プログラム」「新たな雇用」「産業の創出」
- 松戸市文化芸術基本方針「ポップカルチャーから派生するデジタルコンテンツを活用した地域活性化の推進」
- H24教育経済常任委員会 商業振興にかかわる提言について

そこで……

平成28年3月 松戸コンテンツ事業者連絡協議会 立ち上げ

ゲームコンテンツの制作を進めていきます。

例)コミックマーケットへの出展、東京ゲームショーへの出展等

(感想)

行政が新産業『ゲームコンテンツ』という巨大産業に挑むことは大変素晴らしく斬新な手法であると言わざるをえません。もし、ゲームコンテンツを利用して善循環のマーケットを築くことができるのであれば、どれだけの松戸市益に繋がることか、想像しただけでも笑みが出ます。LINEやポケモンGOが流行るように、時代も変わりました。

今どこに巨大マーケットがあるのか、しっかりとマーケティングを行い、最小のコストで最大のパフォーマンスを発揮できるようにしてほしいと思います。

松戸市のコンテンツ産業はどの自治体にも負けない最先端です！

以 上